

定期テスト対策プリント 奥の細道①

月日は(①)の(②)にして、行きかふ年もまた(③)なり。舟の上に(④)をうかべ馬の口とらへて老いを(⑤)ものは、日々旅にして、旅を(⑥)とす。(⑦)も多く旅に死せるあり。予もいづれの年よりか、(⑧)の風にさそはれて、漂泊の思ひやまず、海浜(かいひん)にさすらへ、去年(⑨よみ)の秋 江上(⑩よみ)の破屋にくもの古巢をはらひて、(⑪)年も暮、春たてる霞みの空に、(⑫)の関こえんと、(⑬)の物につきて心をくるはせ、(⑭)のまねきにあひて取るもの手につかず、ももひきの破れを(⑮)、笠の緒つけかえて、三里に灸すゆるより、松島の月、まづ心にかかりて、住める方(かた)は人に譲り、杉風(さんぷう)が別墅(べっしょ)に移るに、

草の戸も 住みかはる代ぞ(よぞ) ひなの家

面八句(おもてはちく)を庵の柱にかけおく。

定期テスト対策プリント 奥の細道②

「平泉」

三代の①一睡のうちにして、大門の跡は一里②にあり。秀衡（ひでひら）が跡は田野（でんや）になりて、金鷄山（きんけいざん）のみ形を残す。まづ高館（たかだち）にのぼれば、北上川南部より流るる大河なり。衣川（ころもがわ）は和泉が城をめぐりて、高館の下にて大河におちいる。泰衡（やすひら）等が旧跡は、衣が関をへだてて、南部口をさしかため、夷（えぞ）をふせぐとみえたり。さても義臣すぐつてこの城にこもり、功名一時の叢（くさむら）となる。「国破れて山河あり、城（しろ）春にして草青みたり」と、笠うち敷て、時のうつるまで泪（なみだ）を落しはべりぬ。

夏草や 兵（つはもの）どもが 夢の後

卯の花に 兼房（かねふさ）みゆる 白毛（しらが）かな 曾良

かねて耳おどろかしたる二堂開帳す。 経堂は三将の像をのこし、

光堂は三代の棺（ひつぎ）を納め、三尊（さんぞん）の仏を安置す。

七宝（しちほう）散（ちり）うせて、珠（たま）の扉風にやぶれ、
金（こがね）の柱、霜雪にくちて、すでに頽廃空虚の叢（くさむら）
となるべきを、四面あらたに囲（かこみ）て、いらかを覆て、風雨
をしのぐ。しばらく千歳の記念（かたみ）とはなれり。

五月雨（さみだれ）の 降（ふり）のこしてや 光堂

PAT共育ゼミナール

定期テスト対策プリント 奥の細道①解答

月日は百代（はくたい）の過客（くわかく）にして、行きかふ年もまた旅人なり。舟の上に生涯をうかべ馬の口とらへて老いをむかふるものは、日々旅にして、旅を栖（すみか）とす。古人も多く旅に死せるあり。予もいづれの年よりか、片雲の風にさそはれて、漂泊の思ひやまず、海浜（かいひん）にさすらへ、去年（こぞ）の秋 江上（かうしやう）の破屋に蜘蛛の古巢をはらひて、やや年も暮、春立（たて）る霞みの空に、白河の関こえんと、そぞろ神の物につきて心をくるはせ、道祖神のまねきにあひて取るもの手につかず、ももひきの破れをつづり、笠の緒つけかえて、三里に灸すゆるより、松島の月、まづ心にかかりて、住める方（かた）は人に譲り、杉風（さんぷう）が別墅（べっしょ）に移るに、

草の戸も 住みかはる代ぞ（よぞ） ひなの家

面八句（おもてはちく）を庵の柱にかけおく。

定期テスト対策プリント 奥の細道解答②

「平泉」

三代の栄耀一睡のうちにして、大門の跡は一里こなたにあり。秀衡（ひでひら）が跡は田野（でんや）になりて、金鷄山（きんけいざん）のみ形を残す。まづ高館（たかだち）にのぼれば、北上川南部より流るる大河なり。衣川（ころもがわ）は和泉が城をめぐりて、高館の下にて大河におちいる。泰衡（やすひら）等が旧跡は、衣が関をへだてて、南部口をさしかため、夷（えぞ）をふせぐとみえたり。さても義臣すぐつてこの城にこもり、功名一時の叢（くさむら）となる。「国破れて山河あり、城（しろ）春にして草青みたり」と、笠うち敷て、時のうつるまで泪（なみだ）を落しはべりぬ。

夏草や 兵（つはもの）どもが 夢の後

卯の花に 兼房（かねふさ）みゆる 白毛（しらが）かな 曾良

かねて耳おどろかしたる二堂開帳す。 経堂は三将の像をのこし、

光堂は三代の棺（ひつぎ）を納め、三尊（さんぞん）の仏を安置す。

七宝（しちほう）散（ちり）うせて、珠（たま）の扉風にやぶれ、
金（こがね）の柱、霜雪にくちて、すでに頽廃空虚の叢（くさむら）
となるべきを、四面あらたに囲（かこみ）て、いらかを覆て、風雨
をしのぐ。しばらく千歳の記念（かたみ）とはなれり。

五月雨（さみだれ）の 降（ふり）のこしてや 光堂

PAT共育ゼミナール